



コンセプト

カレンダーを見ていると、いろんな祝日が目に入ってきます。しかし、その祝日にどんな意味があるのか、案外知らないのではないのでしょうか。

そこで、私たちは、祝日について調べ、祝日をどう過したらよいのか考えてみることにしました。

祝日とは.....

祝日

めでたい日。いわいの日。特に、国で定めた祝いの日。

⇒国民の祝日

旧制の祝祭日を廃して、日本国憲法のもとに一九四八年に制定された祝日。

(広辞苑より)

国民の祝日

- | | | |
|--------|----------------------------|---------------------------------------|
| 4月29日 | みどりの日
(1989年制定) | 自然に親しむとともに、その恵恩に感謝し、豊かな心をはぐくむ。 |
| 5月3日 | 憲法記念日
(1948年制定) | 日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。 |
| 5月5日 | こどもの日
(1948年制定) | こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。 |
| 7月20日 | 海の日
(1995年制定) | 海洋国家日本にとって海の果たす役割とその重要性について、認識を深めていく。 |
| 9月15日 | 敬老の日
(1966年制定) | 多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う。 |
| 9月23日頃 | 秋分の日
(1948年制定) | 祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ。 |
| 10月10日 | 体育の日
(1966年制定) | スポーツにたししみ、健康な心身をつちかう。 |
| 11月3日 | 文化の日
(1948年制定) | 自由と平和を愛し、文化をすすめる。 |
| 11月23日 | 勤労感謝の日
(1948年制定) | 勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがい感謝しあう。 |
| 12月23日 | 天皇誕生日
(1989年制定) | 天皇の誕生日を祝う。 |
| 1月1日 | 元日
(1948年制定) | 年のはじめを祝う。 |
| 1月15日 | 成人の日
(1948年制定) | おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いほめます。 |
| 2月11日 | 建国記念の日
(1966年制定) | 建国をしのび、国を愛する心を養う。 |
| 3月21日頃 | 春分の日
(1948年制定) | 自然をたたえ、生物をいつくしむ。 |

祝日の過ごし方

例えばこんなことができる！



だから休みがもっとほしい！

祝日がふえるとどんなことが起きるか？

良い点

- ・家族とのコミュニケーションをとる機会が多くなる。
- ・自分の好きなこと、やりたいことができるようになる。
- ・たくさんの人々が、遊びに出かけたり、買い物をするようになるため、金回りがよくなり、景気がよくなる。
- ・体をゆっくりとやすめることができる。

悪い点

- ・ガラガラとした生活になり、反対に疲れがたまってしまう。
- ・遊びに出かけたり、買い物をしたりと、いろいろと出費がかさむ。

私たちの提案・その①

大型連休をつくろう!



4 がつ	5 がつ
28	29 30 1 2 3 4 5 6
みどりの日	国民の日 山の日 国民の休日 憲法記念日 国民の休日 こどもの日



5月1日・山の日

(意味)

山がちな日本にとって、山の果たす役割とその重要性について、認識を深めていく。

(考えた理由)

日本の国土の約4分の3は山地でしめられており、山とはひじょうに深い関係を結んできました。だから、そんな山にも感謝する日を考えてみました。

大型連休 ダイヤモンドウィーク

5月1日に祝日(山の日)をつくることにより、4月30日と5月2日が祝日と祝日の間の日となり、国民の休日になります。そうなれば、最低でも4月29日から5月5日までの7日間が連休になります。

私たちはこれを、ゴールデンウィークを改名し、

ダイヤモンドウィーク

と名付けてみました。

私たちの提案・その②

祝日のない月にも祝日をつくろう！

6月と8月には、まだ「国民の祝日」がありません。そこで私たちは、バランスよく、6月と8月にも新しい祝日をつくってみようと思い、下のような祝日を考えてみました。

^{ふうふ} 6月22日・夫婦の日

(意味)

夫婦がお互いの大切さを考える。

(考えた理由)

夫婦がいつまでも仲良くできたらいいなと思い考えてみました。

ジュニアプライドと22(ふうふ)をかけてみました。

^や^{すみ} 8月23日・夏休みの日

(意味)

夏の暑さのために衰えた体をいたわる。

(考えた理由)

たいてい、学生には夏休みがありますが、社会人の人々には、ほとんど夏休みがありません。だから、そんな人々も夏の暑さに減れた体を休められる日を考えてみました。

まとめ

このテーマを研究することによって、祝日の本当の意味や大切さがわかってきたような気がします。

私たちの研究によって、祝日の過ごし方について、もう一度みなさんが思い直してみてください。そして、明日の社会や明日のくらしがよりよいものになっていけばいいなと思います。

